

# 令和7年度第1回国立市保健センター運営審議会

## 記録（要約）

日 時	令和7年8月7日（火） 午後1時15分から午後2時00分まで
場 所	国立市保健センター 1階 会議室
出席委員	8名 行定委員、佐藤委員、下平委員、土方委員、辛島委員、 小鷹委員、安江委員、関田委員
欠席委員	1名 高柳委員
傍 聴	0名
事 務 局	8名 葛原部長、村井室長、加藤課長、前田課長、 浪越係長、矢吹主査、藤原係長、田中主査
議 題	(1) 令和7年度保健センター事業計画について (2) 令和7年度子育て支援課事業計画について (3) その他

## 令和7年度 第1回国立市保健センター運営審議会

【行定会長】皆さまお揃いになりましたので、少し早いですが始めてよろしいですか、今日は38度にもなり非常に暑い中、来るのも大変だったと思いますがよろしくお願ひします。

令和7年度第1回国立市保健センター運営審議会を開催いたします。

なお、高柳委員が本日欠席の連絡をいただいております、1時間程度を目安に審議をしていきたいと思ひますので、皆様のご協力をお願いしたいと思ひます。

今回は今年度1回目になりますので、最初に1度自己紹介を行いたいと思ひます。私は国立市医師会の行定と申します。国立の北で内科を開業しております。よろしくお願ひいたします。

【佐藤委員】歯科医師会の佐藤です。よろしくお願ひします。

【下平委員】谷保の駅の近くの富士見台で調剤薬局をしております下平です。よろしくお願ひします。

【土方委員】多摩立川保健所保健対策課長の土方です。よろしくお願いいたします。

【辛島委員】実践女子大学の辛島と申します。よろしくお願いいたします。

【安江委員】一市民で富士見台 1 丁目に住んでおります安江と申します。よろしくお願いいたします。

【小鷹委員】北 3 丁目住んでおまして、会社員をしておりました小鷹と申します。よろしくお願いいたします。

【関田委員】市民委員の関田です。西に住んでおります。よろしくお願いいたします。

【行定会長】次に事務局からお願いします。

【加藤課長】それでは事務局から人事異動がございましたのでお知らせをさせていただきます。

貴重なお時間をいただきます。ご紹介させていただきます。

まず健康福祉部健康まちづくり戦略室です。令和 7 年 4 月 1 日付けで健康まちづくり戦略室長橋本に変わりました。健康まちづくり戦略推進担当係長を務めておりました村井が、室長に昇任いたしました。現時点では室長が健康まちづくり戦略推進担当係長を兼務しております。

【村井室長】村井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

【加藤課長】令和 7 年 7 月 4 日付けで健康まちづくり戦略室室長補佐保健センター係長事務取扱を務めておりました齋藤が教育総務課長に昇進し異動いたしました。後任として保健センター主査を務めておりました浪越が保健センター係長となっております。

【浪越係長】よろしくお願いいたします。

【前田課長】続きまして、子ども家庭部子育て支援課になりますけれども、令和 7 年の 6 月 1 日付けで、子供保健発達支援係に田中が主査に昇進し異動して参りました。

【田中主査】田中でございます。よろしくお願いいたします。

【前田課長】異動の紹介は以上となります。ありがとうございました。

【行定会長】自己紹介は終わりにしまして早速、第1回の会議の方に入りたいと思います。まず事務局より説明をお願いしたいと思います。

【浪越係長】では、会議の取り扱いについて改めて確認をさせていただきます。

1 番目として、会議は原則として公開とさせていただきます。

次に議事用紙作成のため、この会議は録音させていただいております。この前に置いてある機械は録音してそのまま文字起こしができるというシステムになっておりますので、お気になさらずにご発言ください。

3 番目といたしまして、会議録の要点筆記により作成しまして、委員様に後日確認していただいた後、国立市のホームページの方で公表いたしますので、ご了承ください。

これらの事項につきまして、一旦会長に議事をお返しいたします。

【行定会長】今ご説明した点に関しまして、異議ございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。異議なしと認めまして、そのように扱うこととさせていただきます。引き続き事務局より、資料の確認をお願いいたします。

【浪越係長】

配布資料の確認を行った。

【行定会長】それでは議事を進めてまいります。

(1) 令和7年度保健センター事業計画について。事務局より説明願います。

【浪越係長】

資料に基づき説明を行った。

【行定会長】説明が終わりました。質問等ありましたら、お願いします。

【土方委員】4 ページの今年新たに (2) 健康状態不明者対策を実施されるという事ですが、これは国立市のオリジナルなのか、根拠となる国などの指針がもしあれば、教えてください。

【加藤課長】健康状態不明者対策ですが、高齢者の保健事業と介護予防の一体

的な実施というところで、国が進めているものになります。

こちらの一体的な実施事業の進め方としては、東京都の場合は東京都後期高齢者医療広域連合から各区市町村が委託を受けて実施するものとなっております、委託のメニューとして様々なものがございます。

これまで、糖尿病重症腎臓病の重症化予防のメニューには取り組んできたところですが、今回はその健康状態不明者対策ということで、ここに挙げております健診未受診、医療機関のレセプトもない介護認定もない方を抽出できる仕組みを広域連合の方で整えておりますので、抽出をして、地域包括支援センターと連携の上アプローチをしていきたいと考えております。

【行定会長】ほかにいかがでしょうか

【小鷹委員】8ページの新型インフルエンザ対策行動計画を改定する事業として挙げられておりますけれども、具体的に行動計画の改定を行う内容の主なポイントというのはどういうところになりますでしょうか。

【加藤課長】こちらは国の方で計画のスタイルが決めておまして、まず予防のところから、その初動のことであつたり、市として対策本部を設置することだとか、様々な流れが決まっている中で、各自治体はどうするのかというふうに決めていくものになっていきます。

今国の方から示されたものを吟味しておまして、それに沿って国立市としてどのようにまとめていくかというところを、洗い出しているところです。

国立市の場合、市内に保健所はございませんし、衛生研究所などありませんので、保健所や衛生研究所を持たない自治体版という形で、国が定めているスタイルに合わせて進めていくことになります。

【行定会長】他にいかがでしょうか。

【佐藤委員】9ページの市政に関する会議体、新たにその国立市健康増進計画審議会っていうのを設置するという、これは新たに委員を選出するというのでしょうか。その構成はどのように選ぶのでしょうか。

【加藤課長】今年度中に策定する計画のための審議会になります。

学識経験として大学の先生と、あと医師会、歯科医師会、薬剤師会の会長に就任をお願いしております。

あと市民委員を選ばせていただきまして3人の方に入っていただきます。

合計9名で構成されるもので今月中に委嘱状の交付をいたしまして審議に入らせていただこうと思っております。

【行定会長】他にどうでしょうか

【安江委員】8ページの健康まちづくり推進事業の事業開始2年目という事で、拡大してと書いてありますが、どのくらい拡大されて年齢層はどのようになっていますか。

【村井室長】1年目の方が1,000人少し利用いただいた中で途中退会された方がいらっしやいまして、900名程度の方が残られて、更に2年目として1,100名申し込みがありました。合計して2000名弱でスタートしているところです。

年代ですが昨年度は50代60代の方が多くいらっしやって、高齢の方が少し少なかったのですが、今年度に関しましては高齢の方にたくさん応募いただきたかったので、年齢別の区分を設けて募集したところ、年齢層としては少し上の方が応募してくださったような状況です。

75歳以上の方が、去年は5%程度だったのが10%程度まで増えました。

【行定会長】他に何かございますか。もし何かあれば最後に質問時間とりますので、次の議題に行ってもよろしいでしょうか。

では説明をよろしく申し上げます。

(2) 令和7年度子育て支援課事業計画について

【藤原係長】

資料に基づき説明を行った。

【行定会長】どうもありがとうございました。それでは子育て支援課事業計画についてのご質問ございましたら、どうぞお願いいたします。

では私から質問ではないのですが、このヒトパピローマウイルスワクチンは少し前に副反応で積極的勧奨がストップされていたワクチンで、そのことがあるまで80%から90%まで接種率が上がっていたのが、数パーセントまで落ち込んだ期間が数年ありました。

しかし副反応との因果関係などいろいろ検討されて、今はこのHPVワクチン特有の副反応ではないのではないかというような科学的な見解があって、再開するに至ったワクチンです。

接種が遅れてしまっている人達もいて、ワクチンで子宮頸がんが予防できるという、本当に画期的なことでもありますから、ぜひ皆さんになるべく受けていただきたいということで、我々も患者さんにお勧めしますし、市もこういった色んな便宜を働いていただいて接種の機会を作っているという現状であります。

本当ですとやはり80%90%ぐらいを目指すべきですが、去年はまだ再開したばかりなので、そこまではいっていないと思っております、全国的にも同じ状況ではないかと思っております。

**【藤原係長】** 令和6年度の事務報告書に記載している定期接種の結果になりますが、接種率としては68%になっております。

キャッチアップの正確な数字は手元にないのですが、令和5年までの年間の接種数はおおよそ1年間で、500件程度の接種になっています。

昨年度は最終の年度になり、やはり周囲の方が打っていることや定期接種から外れてしまうと公費接種ができなくなってしまうというのがありまして、令和6年度はおおよそ5倍の数字になります2400件程度の接種がありました。

おっしゃるとおり、まだ8割9割までは届いていないのですが、接種される方は増えている状態です。

今年度、特例接種の対象になる方にも通知しておりますが、最終的に接種するしないというのも、過去の経緯もありますので、ご家族、ご本人が判断されるのに必要な、こういった研究結果がありますよというリーフレット等と同時

に配布するようにして、積極的に勸奨をしていこうと思います。

【行定会長】自治体によって接種率に大分差があるようで、積極的にやっている自治体では、学校で講演を開いてもらって子宮頸がんワクチンの関係を皆さんによく知ってもらっていることをやっているというふうに聞いております。

今後の課題でどんどん接種率をアップしていかなければいけないと思っております。

ほかに、いかがでしょうか、まだ時間がありますので、先ほどの前の事業計画に関してでも結構ですし、質問がございましたらどうぞ。

【土方委員】こちらに記載はないのですが、国の動きとか5歳児健診に関して、もし何かあれば教えてください。各自治体大変だというお話を伺ってます。

【前田課長】5歳児健診ですが 補助要綱なども出ておりまして、小児科医での研修の案内や配信もされているのもあるので、子ども保健・発達支援系の保健師を中心にまずどういった内容のものかいうところも踏まえて、勉強会というようなものを開いているのと、あとは今健診に入らせていただいている小児科医の先生方のところに個別に回らせていただいて、いろいろ意見をいただいているところでございます。

我々が課題として考えているところは、専門職の確保というところで、心理職であったり、もちろん小児科医もですが。

課長会や係長会でも話が出ているところではあるのですが、やはり共通してそのような課題が上がっている状況です。

そうは言ってもいずれはやっていかなければいけないという中で、ある意味、やりながら、いろいろ課題を修正していくところもあるのかなと思いつつ、検討を重ねているような状況です。

【行定会長】他にいかがでしょう

【佐藤委員】8ページの健康まちづくり戦略推進事業の庁内連携で健康まちづく

り戦略庁内検討委員会というものは、もう出来ているのでしょうか。

【村井室長】元々はこちら健康まちづくりプランという計画を作る前に検討委員会を立ち上げておりました、立ち上がったのは令和4年でもう3年実施しているところです。

庁内の各部署が集まりまして、健康で過ごせるまちづくりについて横断的に考えるという検討委員会になりまして、珍しいところで言うと道路の部署ですとか、それからまちの振興課ですとか、そういった部署が集まって、健康で過ごせるまちについて一緒に考えるといったものでございます。

【佐藤委員】それは国立市全体でそういう健康まちづくりを行っているという事でよろしいですね

【村井室長】はい。

【行定会長】他に質問はいかがでしょうか。

【小鷹委員】子育て支援事業ですが、非常に項目が多くて、二十いくつあってたくさんやってらっしゃるのはわかるのですが、例えば、何歳児はこういうのがありますよ、とか一覧表のようにしたらもっとわかりやすいのかなという気がいたしまして、少し工夫されたいかがかなと思うのですが。

【藤原係長】今回お配りしている事業計画に関しましては、このような形で出させていただいておりますが、資料としてお配りしております黄色い母子保健サービスのながれですが、こちらの方が市民の方に通常お配りしているパンフレットでして、お生まれになってから年齢ごとにこういった事業がありますというのをご案内しているものになります。

その他例えば健診に来ていただいた際ですとか、妊婦面談といった際には、それぞれの状況に応じて、例えば多胎でしたら多胎の方が使える制度のご案内ですとか、ご案内さしあげているところです。

お配りしている事業計画に関しては、あまり項目立てずに書いてしまっているところがありますので、書き方に関しては今後検討させていただければと思

います。

【小鷹委員】わかりました。このパンフレットのような形でまとめられた方が分かりやすいと思います。

【行定会長】市民の健診の受診率は、数年前 44%くらいでしたが、少し上がってきましたか。

【加藤課長】45%前後で変わりはないです。

令和2年度新型コロナウイルス感染症の関係で38%まで落ち込みましたが、翌年度回復をいたしまして、ただそこから東京都の多くの自治体で40%代後半というところが多いのですが、国立の場合は45%周辺を推移しています。

【行定会長】受ける人と受けない人に別れてしまっているのですね。

【加藤課長】その辺りも工夫しているところですが、今回お配りさせていただいた資料の中で、追加でお渡ししたものはみんな市民向けに使っているもので、こちらのカラー刷りのものが、今年度から特定健康診査と後期高齢者健診の案内に同封するようにしております、これからも案内を工夫しまして、少しでも受けようという気になっていただけたらと思っております。

令和7年度はこの形が初めてなので、8年度また別の方法を考えていきたいと思えます。

今ちょうど4月、5月、6月生まれの方への発送と7月、8月、9月生まれの方の発送が終って、対象の半分の方に案内が届いたところですが、医療機関にこの半年でどのくらい皆さんの足が向いているかというのはまた検証します。

意外なことに肝炎ウイルス検診のお申し込みが伸びておりまして、このチラシの中で肝炎ウイルス検診が目に残まっているようで、今まで肝炎ウイルス検診は確かにこういう形できれいに項目出しをした案内をしていなかったのに、目に留まったと思えますが、今年度肝炎ウイルスに関しては受診率が伸びていきそうです。

【行定会長】テレビコマーシャルの影響もあるのではないのでしょうか。

【加藤課長】国の給付金に関してのお問い合わせが、ちょうど先日1件ありまして、コマーシャルの影響は多少あるかと思えます。

【行定会長】他にありましたらどうぞ。

【関田委員】国立市内に住んでいる私の娘が安定期に入りまして、1ページにあります母親学級に行ってきたよという話を聞きました。

夫と2人で行ってきたようですけれども、かなりお父さん向けにいろいろ説明をしてくれて、よかったという話を感想として言っていました。

ただ少し固い椅子に2時間座っているだけでおなかが大きいなか辛かったかなと言っていて、2時間座りっぱなしじゃないようにしていただけたらいいのかなと思いました。

市民でありながら、これから子育てをしていくという娘を見ながら、この会に関わっていただけたらいいのかなと思えます。

どんな環境にあるお母さんも安心して子どもを育てられる国立市であったらいいなと思っていますので、どうぞよろしく願いいたします。

【行定会長】どうもありがとうございます。現場の声について言っていて非常にありがたいです。

【関田委員】どうだったのと、根掘り葉掘り聞いてしまいました。おじいちゃんおばあちゃん向けの講義ですとか、そういうものはないのでしょうか。

【藤原係長】うちの事業ではないのですが、市の出前講座でそういったものがあったと思います。正式な名称はすぐにでないのですが、一般市民向けの子育て支援課の事業の中で、こういったことをやっていると紹介をさせていただいております。

【関田委員】ありがとうございました。

【行定会長】他にありますか、大丈夫ですか。

では、最後に事務局から次回の審議会についてご説明いただきたいと思えます。

**【加藤課長】**今年度の今後の予定についてご説明いたします。

こちらの審議会は定期的な開催としては年3回を予定しております。

今回は令和6年度の決算をご報告させていただきたいと思っております、予定としては12月ごろになる見込みです。その後、来年、年が明けまして2月に令和8年度の予算の見込みについて、ご説明させていただきたいと思っております。

詳しい日程につきましては改めて調整させていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。ご多忙のところお集まりいただきましてありがとうございます。

**【行定会長】**最後に審議会全体に何か要望とか質問があればどうぞ。

よろしいですか。では、これで運営審議会を終了いたしたいと思っております。少し時間は早いですが、ご協力ありがとうございました。